平成 29 年度第 4 回・平成 30 年第 1 回合同評議員会議事概要

日時：平成 30 年 4 月 7 日（土） 13：00−15：30
場所：東京工業大学キャンパスイノベーションセンター・2 階多目的室 3
出席者※：雨宮慶幸[a,b]，植草秀裕[a,b]，海野昌喜[a,b]，大原高志（広報幹事），奥部真樹（庶務幹事）[a,b]，尾関智二（監査役）[a,b]，上村みどり[a,b]，久保田佳基（情報幹事）[b]，熊坂　崇[a,b]，栗栖源嗣（男女共同参画推進幹事）[a,b]，坂田修身[a,b]，佐々木聡（平成 29 年度会長），清水敏之[a,b]，菅原洋子[a]，杉山和正（行事幹事）[a]，高田昌樹[a,b]，玉田太郎[a,b]，中川敦史[a,b]，西堀英治[a,b]，禾　晃和（会計幹事）[a,b]，樋口芳樹[a,b]，松村浩由[b]，三木邦夫（監査役）[a,b]，宮原郁子[a,b]，森 茂生（編集幹事），姚　閔[b]，山縣ゆり子[a,b]，山口 宏[a,b]，山本雅貴[a,b]，吉朝朗[b]
委任状出席者※：　井上　豪[a]，神谷信夫[a]，神山　崇[a,b]，関根あき子[a,b]，千田俊哉[a,b]，渡邉信久[a,b]
欠席者※：足立伸一[a,b]
オブザーバー：岡崎伸生，小松一生，杉本邦久
議長：佐々木聡（平成 29 年度会長）
議事録作成者：大原高志
※平成 29 年度第 4 回評議員会（定数 30，構成員は[a]で表記）：出席 23，委任状出席 6
　平成 30 年度第 1 回評議員会（定数 30，構成員は[b]で表記）：出席 25，委任状出席 4
（五十音順）

上記のとおり定足数に足る評議員の出席があったので，議長は定刻に開会を宣し，下記のとおり議事に入った. また、議事録署名人として奥部評議員が選出された.

議事

報告，審議に先立ち，平成 29 年度会長挨拶，ならびに平成 30 年度会長候補挨拶がおこなわれた．引き続き，新監査役および新幹事の候補者，平成 30-31 年度評議員，各委員会委員候補者の紹介がおこなわれた.

報告事項

1　幹事報告

1.1庶務幹事報告（奥部庶務幹事）

平成 29 年 11 月 10 日から平成 30 年 3 月 26 日までの会員の異動状況が報告された．平成 30 年 3 月 26 日現在，会員数が 1219（個人会員 1199 名，賛助会員 20 社）である．学会共催等依頼について，協賛依頼 12 件，後援依頼 1 件が報告された.

リガクファンド活用実績報告書を株式会社リガクに提出したことが報告された．報告書は平成 29 年度会計が確定した平成 30 年 2 月 16 日付で作成し，活動内容や収支についての報告を行ったと説明があった.

1.2会計幹事報告（禾会計幹事）

一般社団法人としての平成 29 年度決算（平成 29 年 2 月 1 日～平成 30 年 1 月 31 日）が報告され、監査報告書も同時に提示された（別表参照）．単年度収支として，1,549,017 円の黒字となったことが報告された．平成 29 年度当初予算と比べ収支が好転したのは，歳入面で，広島年会および粉末 X 線解析講習会が黒字で開催され 1,185,688 円の行事活動収入が入ったことと別刷収入が当初の見込みを 457,932 円上回ったのに加え，歳出面で，会誌発行費と会議費とを抑制することができたためである．租税公課については，法人税と事業税の算出にかかわる法人所得がなしと判定され，法人住民税 7 万円のみを納税することとなったことが説明された．また，第 3 回評議員会で承認された平成 30 年度予算について，決算による繰越金の確定と運用予定の説明があった．

1.3編集幹事報告（森編集幹事）

会誌（印刷版，電子版）の発行状況が報告されるとともに，平成 30 年度からは年 4 冊の発行とすること, 5 月末および 11～12 月末に発行の冊子をそれぞれ 2, 3 合併号, 5, 6 合併号とすることが報告された．また、日本印刷株式会社と 4 冊/年の発行という条件で契約したことが佐々木会長より報告された．

1.4行事幹事報告（杉山行事幹事）

講習会「第 7 回対称性・群論トレーニングコース」（平成 30 年 8 月 6-10 日，高エネルギー加速器研究機構つくばキャンパス（仮））の開催計画が報告された．

平成 29 年度年会（広島市文化財団アステールプラザ，平成 29 年 11 月 23-24 日）の開催結果が報告されると共に，平成 30 年度年会（東京工業大学大岡山キャンパス，平成 30 年 11 月 10-11 日）および平成 31 年度年会（金沢市文化ホール，平成 31 年 11 月 18-20 日（仮））の開催計画が報告された．平成 30 年度年会に関しては，評議員の植草秀裕実行副委員長より準備状況について報告された．また，年会用備品リストについて内容の確認，補充を行ったことと，申し送り事項として 4 年に一度行事委員会が内容を確認する旨が報告された．

平成 29 年度に実施した講習会「粉末 X 線解析の実際」の折に行われた参加者へのアンケートの結果が報告された．

ポスター賞賞状を入れるためのポケットファイル製作を企画し，デザインを検討中であることが報告された．

1.5情報幹事報告（久保田情報幹事）

日本結晶学会ホームページの更新状況について報告された．

1.6広報幹事報告（大原広報幹事）

会員へのメール配信および IUCr Newsletter への投稿実績について報告された．

1.7男女共同参画推進幹事報告（栗栖男女共同参画推進幹事）

平成 29 年度年会におけるティータイムセッションの開催結果について報告された．

男女共同参画学協会連絡会の第 16 期運営委員会への参加状況，および平成 30 年度分担金に関して報告された．

2　AsCA 関係

栗栖 AsCA 評議員より，　AsCA 2018 (December 2-5, 2018, Auckland, New Zealand)の準備状況についての報告がなされた．

3　日本学術会議関係

日本学術会議結晶学分科会の上村評議員より，日本学術会議第 24 期結晶学分科会（平成 29 年 12 月 27 日, IUCr 分科会と合同開催）報告として，第 24 期の活動計画およびマスタープラン 2020 の策定について説明があった.

4　IUCr 関係

日本学術会議 IUCr 分科会の高田評議員より IUCr2020 にむけた活動について報告された．また，日本の IUCr commission メンバー間の連携を強化するのが望ましく，協力依頼があった.

5　その他

久保田情報幹事より，前回評議員会より継続審議となっている学会ホームページへのリンクポリシーについての検討結果，学会関連の電子データを保管するためのクラウドサービス導入についての検討状況について報告された.

大原広報幹事より, J. L. Hodeau 氏（フランス, CNRS）が作成した結晶学に関する掛軸の日本語版について報告された.

審議事項

1.　会員異動

平成 29 年度第 3 回評議員会以降の新規入会者の紹介，入会申込書類の回覧があり，全員の入会が満場一致で承認された.

2.　共催・協賛・後援

共催等依頼について別紙記載の協賛 12 件及び後援 1 件が満場一致で承認された.

3.　平成 30-31 年度幹事, 監査役の承認

別紙資料名簿記載の平成 30-31 年度幹事および監査役がその任に着くことが満場一致で承認された.

4.　平成 30-31 年度各委員会委員の承認

別紙資料記載の各委員会の委員が満場一致で承認された.

5.　平成 29 年度決算

平成 29 年度決算が満場一致で承認された.

6.　「ホームページ規程」の改訂

本規定の第 6 条として，先頭のページ以外にリンクする場合には本会ホームページへのリンクであることが分かる形にする，第 8 条として本会が適切ではないと判断した場合はリンクの削除，修正を要請することがある旨を加えることが提案され，満場一致で承認された.

7.　結晶学に関する掛軸の取り扱いについて

J. L. Hodeau 氏（フランス, CNRS）作成（菅倫寛会員が窓口）の結晶学に関する掛軸の学会としての取り扱いについて，学会ホームページおよび定期配信メールに電子データの URL（岡山大学）をリンクすることで学会員への周知を図ることが全会一致で承認された．また，このような素材の取り扱いを含め，結晶学の基礎を一般に広く周知することに対する学会としての取り組み方については今後も議論を行うこととした.

8.　会誌年間発刊号数変更の告知案

結晶学会誌の発刊号数変更について,2018 年 5 月末発刊予定の会誌, 学会ホームページ, 定期配信メールで会員に告知することが満場一致で承認された.

9.　学会賞候補者推薦のお願い

奥部庶務幹事より，平成 30 年度の西川賞，学術賞，進歩賞候補者について推薦の依頼があった.

10. その他

結晶学会用のクラウドストレージについて

学会関連の電子データを保管, 共有するためのクラウドストレージについて, 経費と容量, 使い勝手, 管理法を考慮したうえで, 導入するサービスを継続して検討することとなった.

11. 次回評議員会日程

次回（平成 30 年度第 2 回）幹事会・評議員会の日程と会場について，下記の開催案が提案された.

日時：平成 30 年 7 月 7 日（土）幹事会 10:00 – 12:00
評議員会 13:00 – 16:00

場所：日本大学文理学部百周年記念館 2 階会議室

以上